

品 番

DP-38024・DP-38025・DP-40332・DP-40333

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

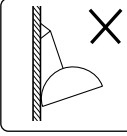
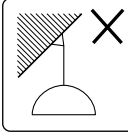
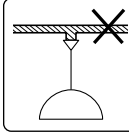
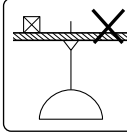
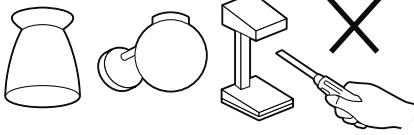
工事店様へ

- 施工前に施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

⚠ 警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負うことが想定されます。

！ 厳守	この器具は天井吊下専用器具です。指定場所以外には取付けないでください。火災・落下の原因となります。     壁面 指定以外の傾斜天井 不安定な場所 補強のない天井	禁止	器具にその他の荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わないでください。火災・感電・落下の原因となります。
！ 厳守	器具本体表示または本説明書に従って施工してください。施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。	分解禁止	器具の改造、部品の変更は行わないでください。火災・感電・落下・転倒等の原因となります。 
禁止	周囲温度-5～35℃以外では使用しないでください。火災の原因となります。	！ 厳守	電源電圧は、器具銘板または本説明書に記載されている定格電圧でご使用ください。過電圧を加えると部品が過熱し火災・感電の原因となります。
禁止	器具の直下や近くでは、火気等を使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。  ストーブ	！ 厳守	煙・臭い等の異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。火災・感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店、または当社「CSセンター」にご相談ください。 

⚠ 注意

取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか物的損害の発生が想定されます。

！ 厳守	電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
！ 注意	照明器具の取り替え時期の目安は、通常の使用状態(周囲温度30℃、一日10時間点灯)において、約8～10年です。各種部品の劣化も進みますので、交換をおすすめします。点検は、本説明書に従ってお願いします。(3～5年に1度は販売店・工事店の点検をおすすめします。)

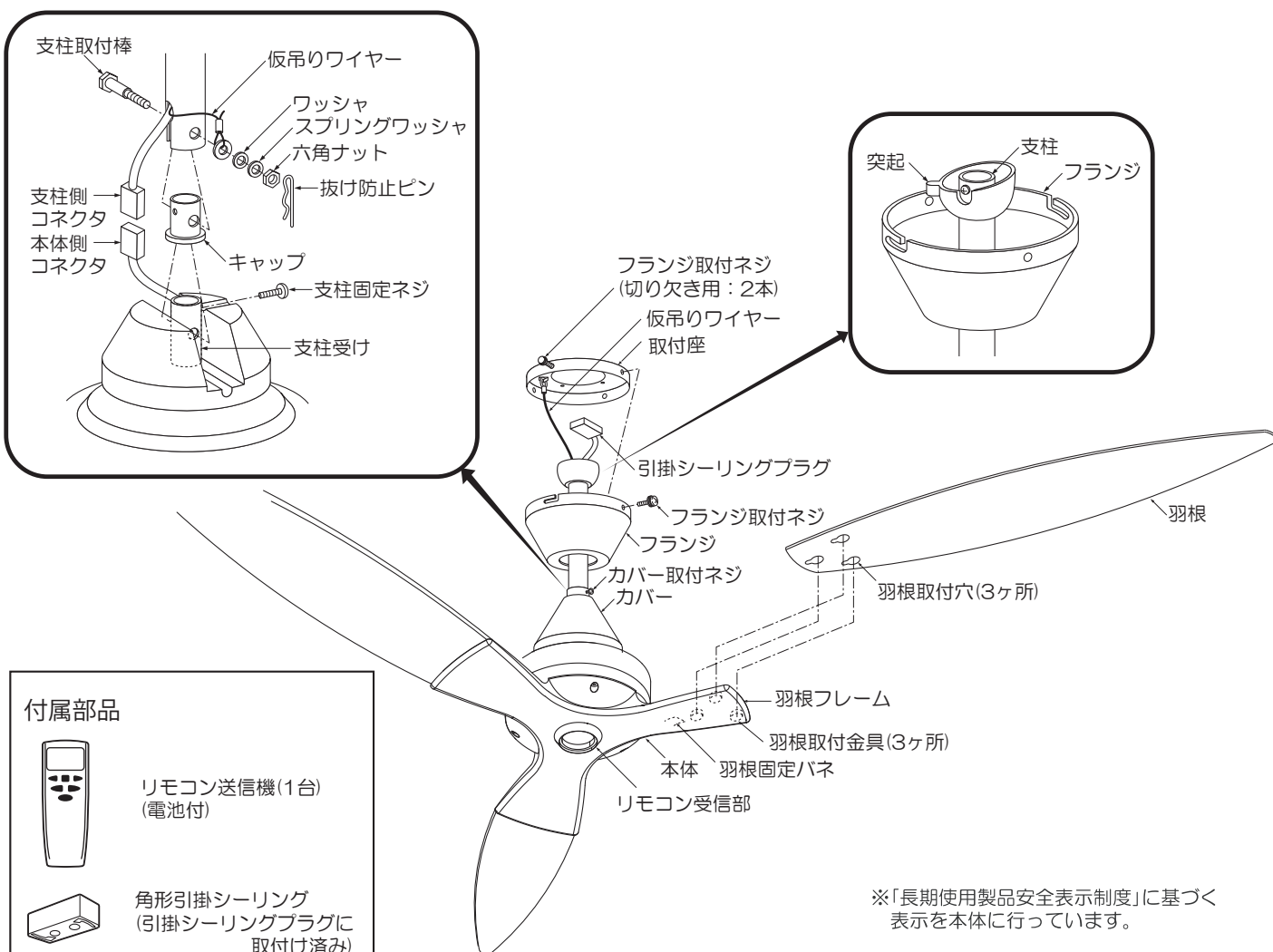
仕様

- 屋内天井吊下専用器具です。
 - リモコン(プルレス)スイッチ対応です。
 - 簡易取付式です。
 - 調光機能付スイッチは使用できません。
 - 傾斜天井に使用する際は、別売支柱をご使用ください。
 - 加熱防止機能付き。
- (別売部品欄をご参照ください。)

品番		DP-38024・40332		DP-38025・40333	
定格電圧		交流 100V			
周波数		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz
消費電力	ファン	15. 7W	18. 0W	20. 3W	28. 5W
入力電流	ファン	0. 16A	0. 18A	0. 21A	0. 29A
器具重量		約3. 7kg		約4. 2kg	
電源接続		引掛シーリング			

各部の名称

※下図は、簡略した図です。



付属部品



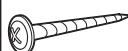
リモコン送信機(1台)
(電池付)



角形引掛シーリング
(引掛シーリングプラグに
取付け済み)



フランジ取付ネジ(4本)
(取付座に取付け済)



木ネジ(4本)



取付ネジ
M3.5×12mm(2本)



取付ネジ
M3.5×15mm(2本)

※「長期使用製品安全表示制度」に基づく
表示を本体に行っています。

警告



この器具は非防水
です。湿気の多い
場所や屋外で使用
しないでください。
火災・感電の原因と
なります。

1) 施工前に確認する

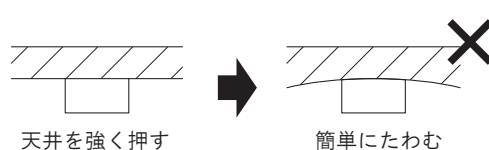
■天井の確認

- 取付面の強度を十分に確認し、あらかじめ補強するか補強材のある位置に取付けてください。
- 変形天井(ななめ天井、舟底天井等)及び下図のような天井には絶対に取付けないでください。
- この器具は平らな天井に取付けてください。壁面等には取付けできません。

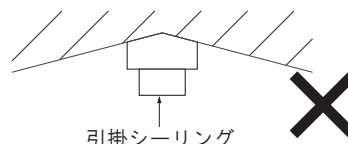
木ネジは補強のある箇所に確実にとめてください。



簡単に天井がたわむ弱い天井(補強材が弱い天井)

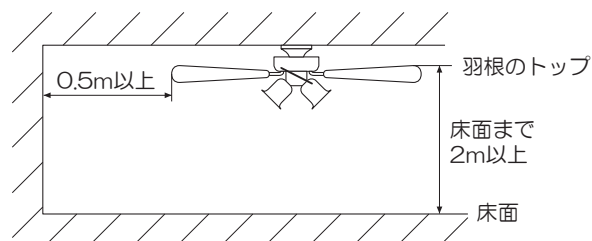


傾斜をあわせた舟底天井



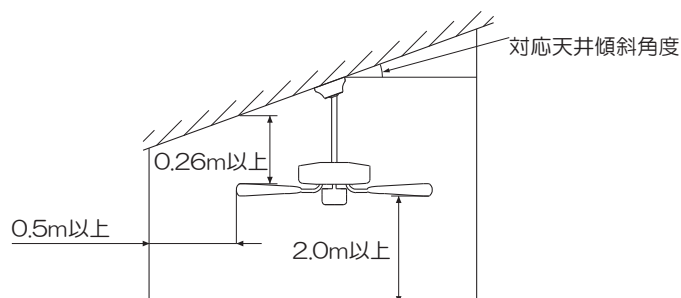
■取付位置の確認

- 器具の取付位置は必ず下図寸法以上を確保し、取付けてください。



注) 傾斜天井には取付けできません。

●傾斜天井の場合



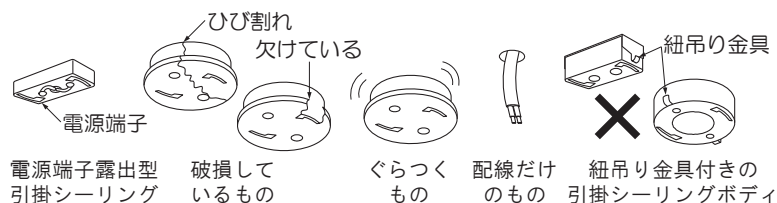
注) 傾斜天井に取付ける際は、必ず支柱の対応天井傾斜角度をご確認ください。

- 別売(支柱)を使用して頂くと、下記の傾斜天井に取付けできます。
※別売(支柱)の取付方法は、S5の ④ 支柱を取付けるを参照願います。

品番	全長	仕上げ	対応天井傾斜角度	適合器具
DP-37650	400mm	白塗装	25° まで	DP-38024 DP-38025
DP-37651	600mm	白塗装	32° まで	
DP-37652	800mm	白塗装	32° まで	
DP-40334	400mm	黒塗装	25° まで	DP-40332 DP-40333
DP-40335	600mm	黒塗装	32° まで	
DP-40336	800mm	黒塗装	32° まで	

② 配線器具を確認する

●使用できないもの



⚠ 警告

上記のような配線器具には、器具を取付けないでください。
火災・感電・落下の原因となります。
配線器具の交換・取付けは資格が必要です。販売店・工事に依頼してください。

●使用できるもの



⚠ 警告

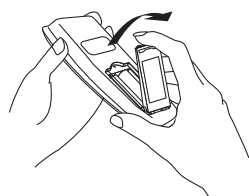
配線器具は十分な強度で取付けされていることを必ず確認してください。火災・感電・落下の原因となります。

③ 取付前に準備する

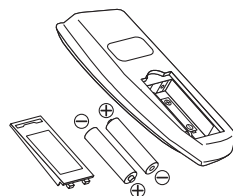
●リモコンの準備をする。

リモコンに乾電池を入れる。(※付属の乾電池は動作確認用です。)

1 裏側のフタを手前に引き上げて取外す。



2 電池は、単三形(LR6)2個を極性を合わせて入れる。

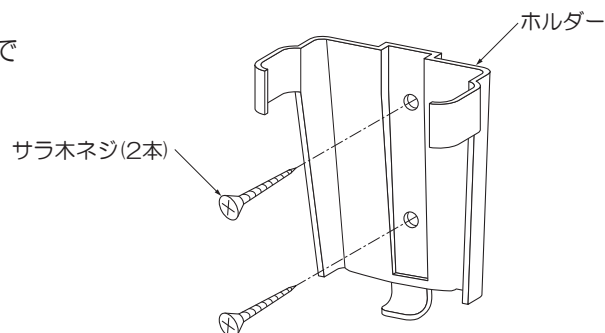


3 カチッと音がするまでフタを押し込む。



●リモコンホルダーを取付ける。

リモコンホルダーをサラ木ネジ(2本：M3×25mm)で壁面の補強材のある位置に取付けてください。



●リモコンの受信範囲

- ・リモコンは受信部に向かって操作してください。
- ・受信距離は直線で約5mです。

⚠ 警告

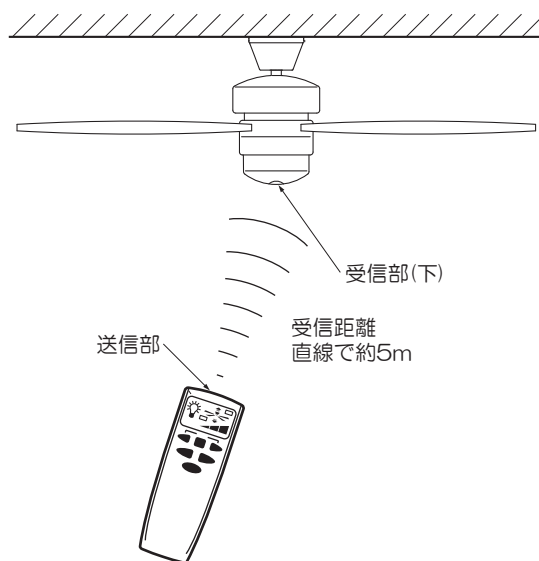
次のような場所では使わないでください。
故障の原因となります。

- 厳守
- 高温(常時35℃以上)なところ
 - 多湿(風呂場等)なところ
 - 水のかかるところ
 - 薬品、油、ホコリの多いところ

調光器との併用はできません。

※受信部はリモコン信号(赤外線)を直接受信します、以下のような所で使用しますと、信号が遮断されたり受信できない場合があります。

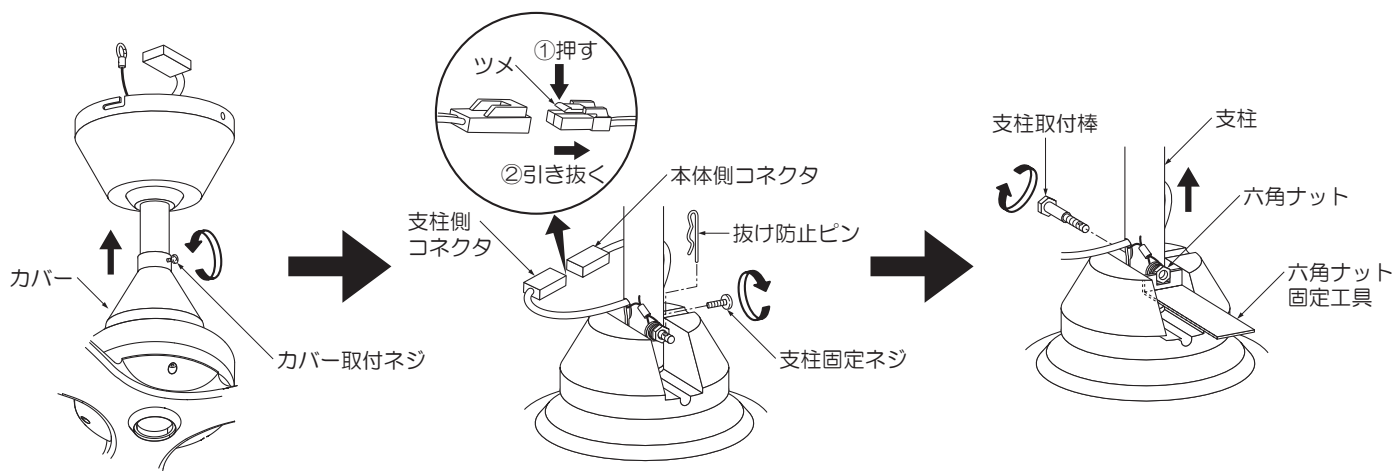
- ・受信部の近くにガラスや壁の遮へい物があり、送信の影になるところ。
- ・ネットやガラスなど、光を減衰、または反射するものがあるところ。



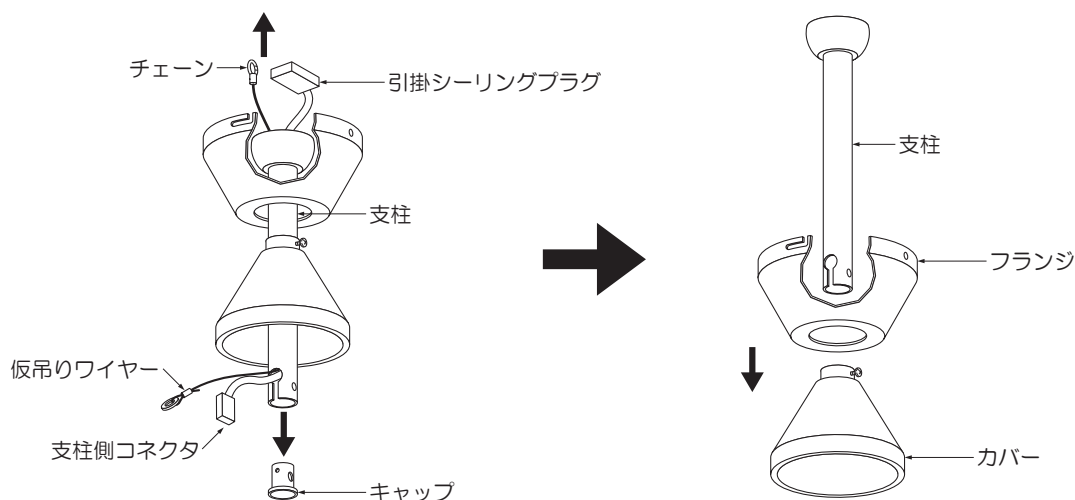
④ 支柱を取付ける(別売の支柱を取付ける場合は、下記の手順で行なってください)

※標準の支柱をご使用の場合は、④の作業は必要ありません。

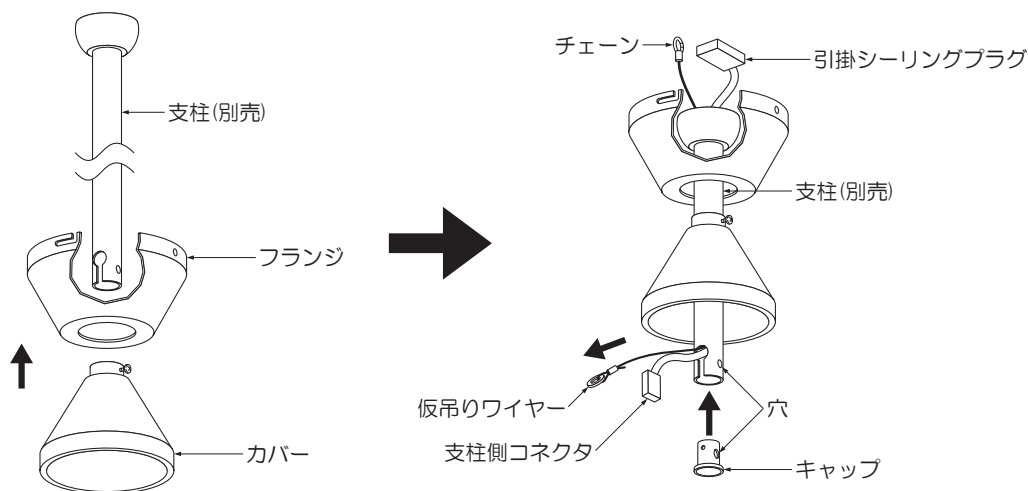
- カバー取付ネジをゆるめて、カバーを持ち上げてください。
- 本体側コネクタのツメを押さえ、支柱側コネクタから本体側コネクタを引き抜いてください。
- 支柱固定ネジを取外し、抜け防止ピンを取外してください。
- 六角ナット固定工具(別売支柱に付属)を六角ナットにセットし、支柱取付棒をゆるめて、支柱を取外してください。



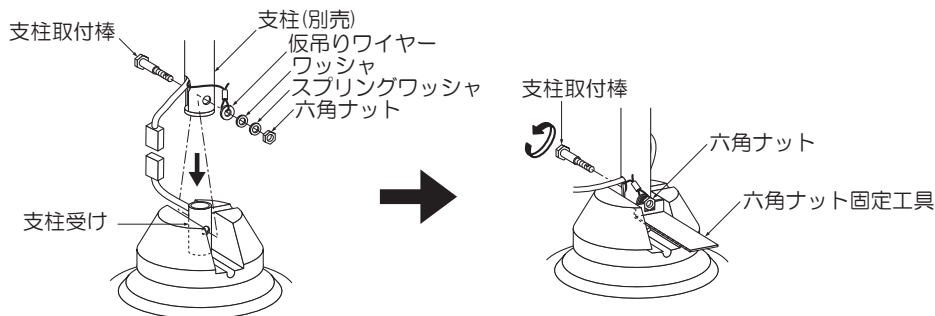
- 支柱からキャップを取外し、支柱側コネクタと仮吊りワイヤーを引き抜いてください。
- 支柱からカバー、フランジを取外してください。



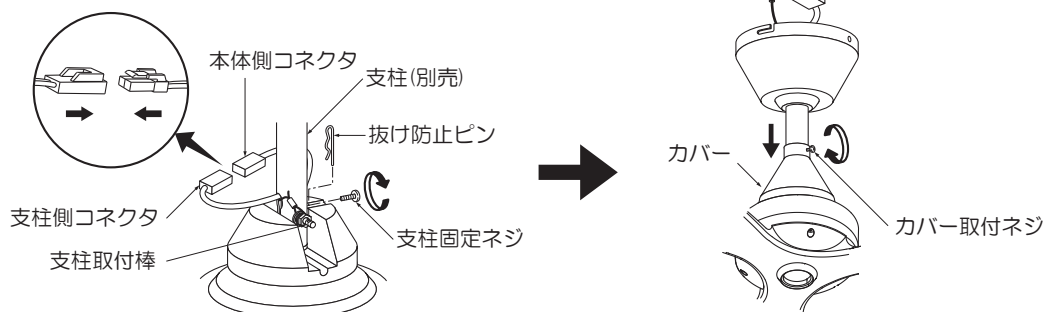
- 別売の支柱にフランジ、カバーを通してください。
- 支柱に支柱側コネクタと仮吊りワイヤーを通し、支柱の穴とキャップの穴の位置を合わせ、支柱にキャップを確実にめ込んでください。



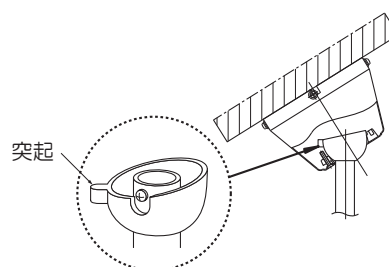
- 支柱取付棒が通るように穴を合わせながら、支柱を支柱受けに差し込んでください。
- 支柱取付棒を差し込み、仮吊りワイヤー、ワッシャ、スプリングワッシャ、六角ナットをセットしてください。
- 六角ナット固定工具(別売支柱に付属)を六角ナットにセットし、支柱取付棒を確実に締め付け固定してください。



- 抜け防止ピンを支柱取付棒に確実に取付けてください。
- 支柱を支柱固定ネジで確実に締め付け固定してください。
- 本体側のコネクタと支柱側コネクタを確実に差し込んでください。
- カバーを下げてカバー取付ネジを確実に締め付け固定してください。



- 傾斜天井に取付ける際は、左図の突起が天井の傾斜の下向きになるように取付けてください。

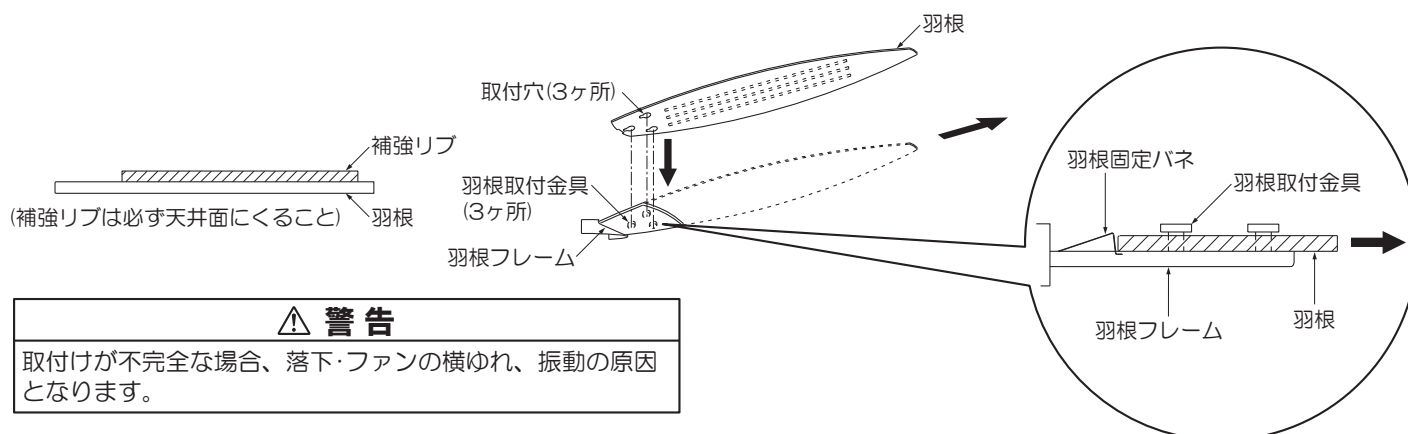


⚠ 警告

取付けが不完全な場合、落下の原因となります。

5) 羽根を取付ける(床面で作業する方が楽にできます)

- 羽根は補強リブが天井面になるよう取付けてください。
- 羽根取付金具にゆるみがないことを確認のうえ作業してください。もしゆるんでいる場合は、プラスドライバーで確実に締め付け固定してください。
- 羽根の取付穴(3ヶ所)を羽根取付金具(3ヶ所)に合わせ、羽根固定バネが「カチッ」と鳴るまで外側に羽根を引っ張り確実に固定してください。(同様に残りの羽根(3枚)もセットしてください。)



⚠ 警告

取付けが不完全な場合、落下・ファンの横ゆれ、振動の原因となります。

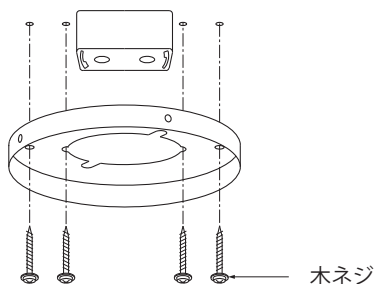
6 取付座を取付ける

■取付面の強度を充分確認し、重量に耐えうる天井に下記の手順で取付けてください。

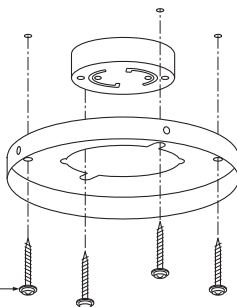
＜角形(丸形)引掛シーリング・丸形フル引掛シーリングの場合＞

●木ネジ(4本)で天井面の補強された重量に耐えうる位置に取付座を取付けてください。

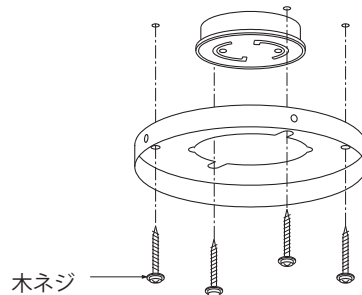
角形引掛シーリング



丸形引掛シーリング



丸形フル引掛シーリング



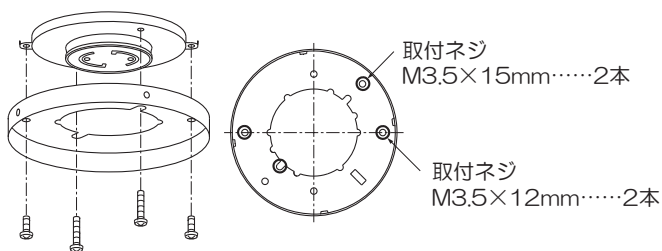
＜フル引掛・引掛埋込ローゼットの場合＞

●フル引掛・引掛埋込ローゼットのネジ(2本)を外してください。

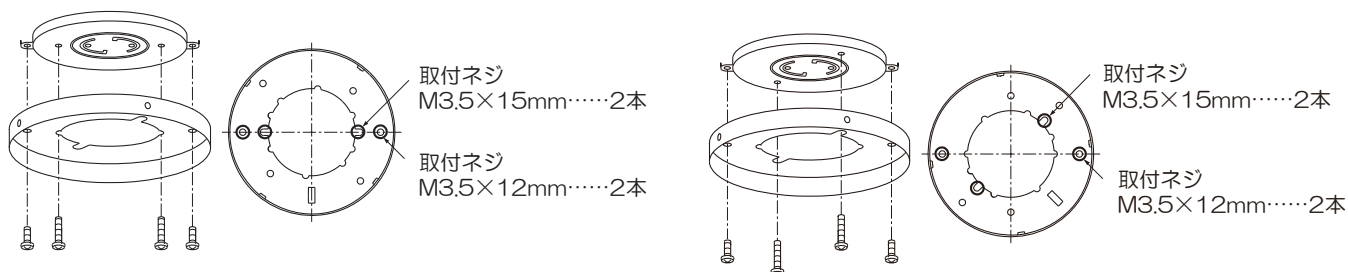
※ローゼットから外したネジ(2本)は取付座の取付けには使用できません。

●フル引掛・引掛埋込ローゼットのネジを外した穴とローゼットの金具のネジ穴(2ヶ所)、計4ヶ所のネジ穴が合うように取付座をセットし、取付ネジM3.5×12mm(2本)・M3.5×15mm(2本)で確実に締め付け固定してください。

フル引掛ローゼット



引掛埋込ローゼット



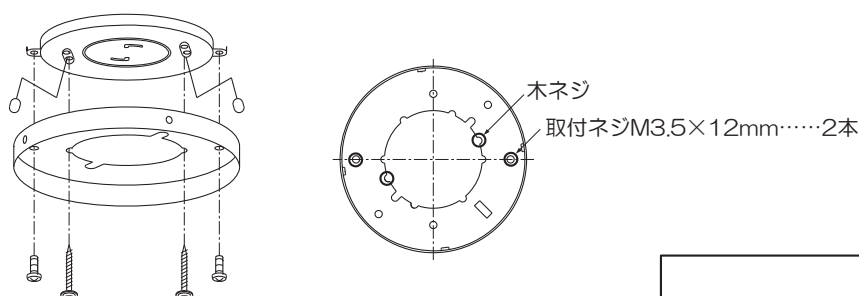
＜引掛露出ローゼットの場合＞

●ローゼット取付用木ネジ(2本)を外してください。

※木ネジ穴に化粧シールが貼られている場合は、シールをはがしてから木ネジ(2本)を外してください。

●ローゼットの木ネジを外した穴とローゼットの金具のネジ穴(2ヶ所)、計4ヶ所のネジ穴が合うように取付座をセットし、取付ネジM3.5×12mm(2本)と木ネジ(2本)で確実に締め付け固定してください。

引掛露出ローゼット



⚠ 警告

取付が不完全な場合、落下の原因となります。

7) 電源を接続する

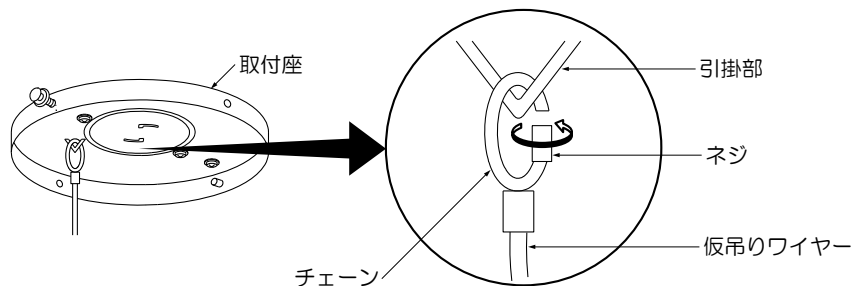


厳守

必ずブレーカーを切ってから作業してください。
不意に作動してけがをしたり、感電の原因になります。

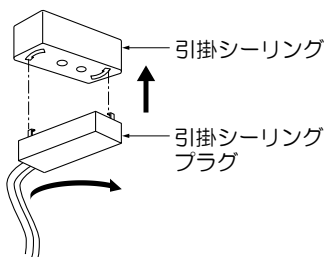
羽根を持って作業しないでください。
変形してゆれたり回転不良の原因となります。

- 仮吊りワイヤーのチェーンを取付座の引掛部に取付けて、ネジを確実に締めてください。



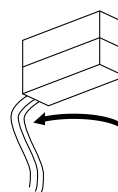
<取付け>

- 差し込み、カチッと音がするまで右に回す。



<取外し>

- カチッと音がするまで左に回す。



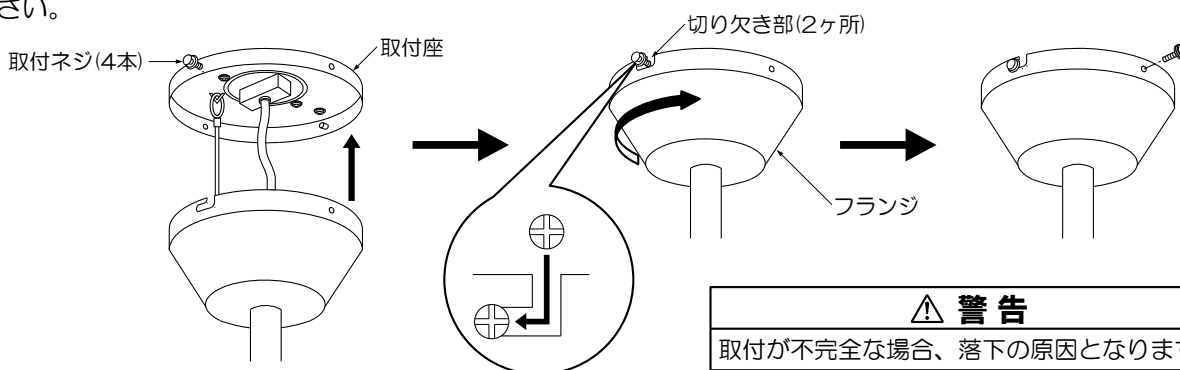
⚠ 警告

取付けが不完全な場合、焼損・不点・接触不良の原因となります。

定格以外の電圧では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

8) フランジを取付ける

- 取付座の4ヶ所の取付ネジのうち、対面の2ヶ所の取付ネジをかるくねじ込んでください。
- 2本の取付ネジにフランジの切り欠き部(2ヶ所)を合わせ、押し上げ右に回し固定してください。
- 残り2本の取付ネジをセットし、確実に締め付け固定してください。合わせて先の2本の取付ネジも同様に作業してください。



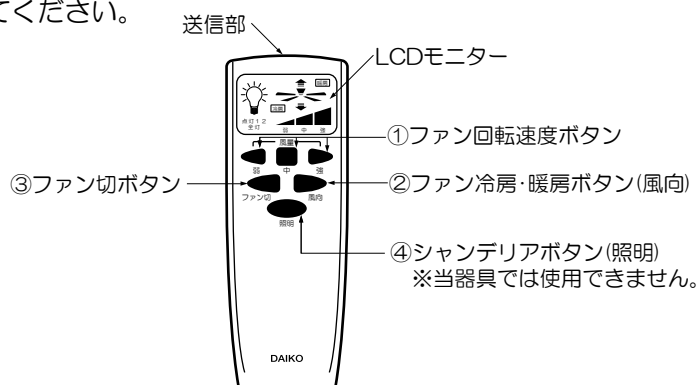
⚠ 警告

取付が不完全な場合、落下の原因となります。

9) 使用前に確認する

- 取付金具と天井面の取付けにガタ付きがないか確認してください。
- リモコン操作と本体の動作は正常か確認してください。

※取扱説明書、4ページ④操作方法を参照願います。



品 番

DP-38024・DP-38025・DP-40332・DP-40333

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お客様へ

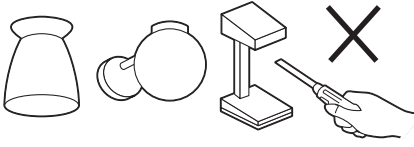
- ご使用の前に安全上のご注意と取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 本説明書は大切に保管してください。

安全上のご注意



警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負うことが想定されます。

 禁止	器具の直下や近くでは、火気等を使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。   ストープ	 禁止	運転中は羽根に触れないでください。落下・けが・破損・故障の原因となります。
 禁止	周囲温度-5～35℃以外では使用しないでください。火災の原因となります。	 水ぬれ禁止	水をかけたり、ぬらさないでください。火災・感電の原因となります。
 禁止	器具にその他の荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わないでください。火災・感電・落下の原因となります。	 厳守	お手入の際は、必ずブレーカーを切ってから作業してください。電源を切らないで作業を行うと、不意に作動しけがをしたり、感電の原因となります。
 分解禁止	器具の改造、部品の変更は行わないでください。火災・感電・落下・転倒等の原因となります。 	 厳守	煙・臭い等の異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。火災・感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店、または当社「CSセンター」にご相談ください。 



注意

取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか物的損害の発生が想定されます。

 厳守	電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。	 注意	リモコンを落としたり、踏まないでください。故障の原因となります。
 注意	照明器具の取り替え時期の目安は、通常の使用状態(周囲温度30℃、一日10時間点灯)において、約8～10年です。各種部品の劣化も進みますので、交換をおすすめします。	 注意	調光器を使用しないでください。故障の原因となります。

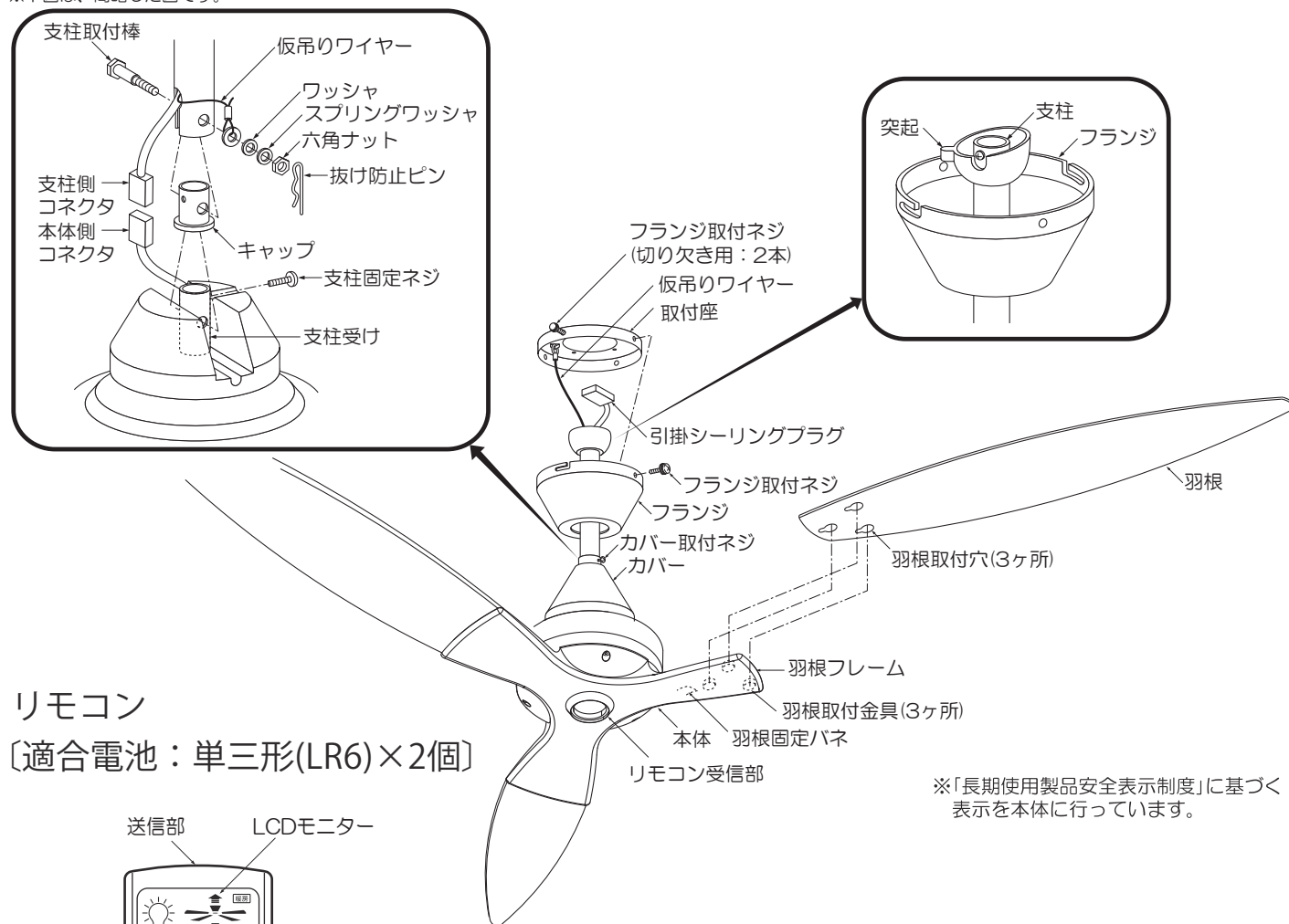
仕様

- 屋内天井吊下専用器具です。
- 簡易取付式です。
- 傾斜天井に使用する際は、別売支柱をご使用ください。
(別売部品欄をご参照ください。)
- リモコン(プルレス)スイッチ対応です。
- 調光機能付スイッチは使用できません。
- 加熱防止機能付き。

品番		DP-38024・40332		DP-38025・40333	
定格電圧		交流 100V			
周波数		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz
消費電力	ファン	15. 7W	18. 0W	20. 3W	28. 5W
入力電流	ファン	0. 16A	0. 18A	0. 21A	0. 29A
器具重量		約3. 7kg		約4. 2kg	
電源接続		引掛シーリング			

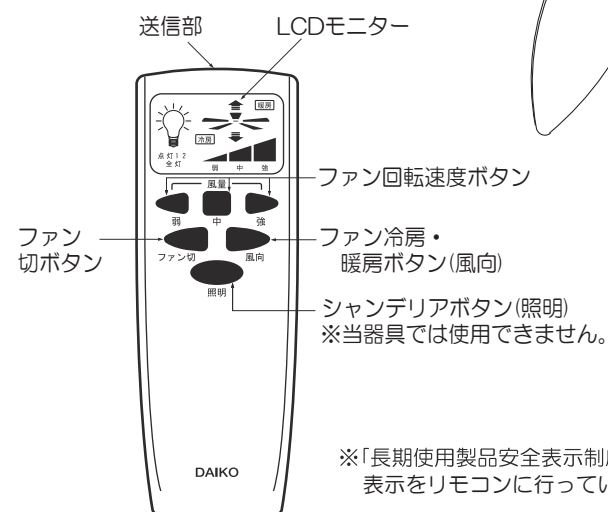
各部の名称

※下図は、簡略した図です。



リモコン

[適合電池：単三形(LR6)×2個]



※「長期使用製品安全表示制度」に基づく表示をリモコンに行っています。

※「長期使用製品安全表示制度」に基づく表示を本体に行っています。

警告



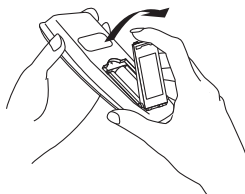
この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

1 お使いになるまえに

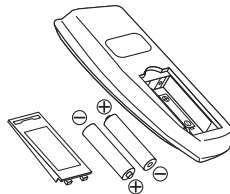
●リモコンの準備をする。(すでに取付けられている場合は次にうつる。)

リモコンに乾電池を入れる。(※付属の乾電池は動作確認用です。)

1 裏側のフタを手前に引き上げて取外す。



2 電池は、単三形(LR6)2個を極性を合わせて入れる。

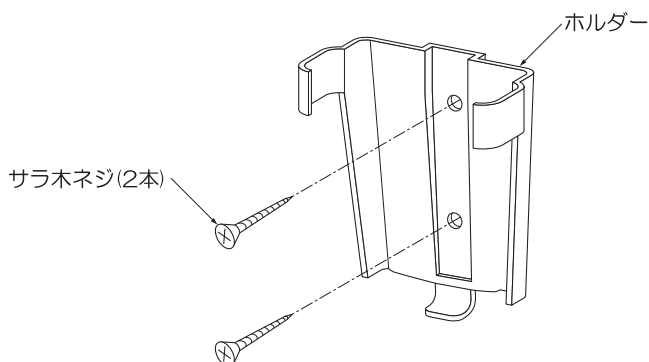


3 カチッと音がするまでフタを押し込む。



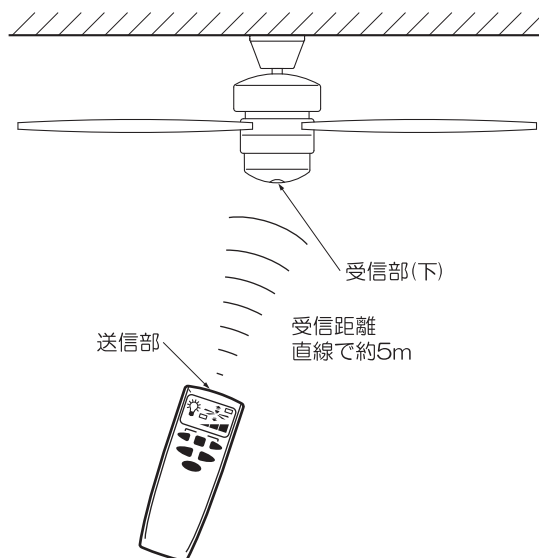
●リモコンホルダーを取付ける

リモコンホルダーをサラ木ネジ(2本：M3×25mm)で壁面の補強材のある位置に取付けてください。



●リモコンの受信範囲

- ・リモコンは受信部に向かって操作してください。
- ・受信距離は直線で約5mです。



⚠ 警告

❗ 次のような場所では使わないでください。
故障の原因となります。

- 厳守
- 高温(常時35℃以上)なところ
 - 多湿(風呂場等)なところ
 - 水のかかるところ
 - 薬品、油、ホコリの多いところ

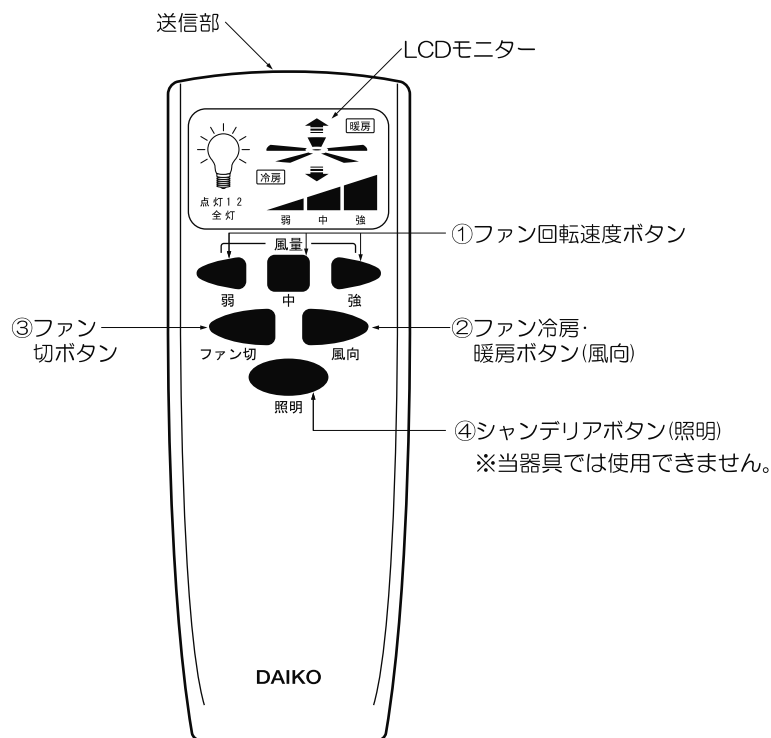
調光器との併用はできません。

※受信部はリモコン信号(赤外線)を直接受信します、
以下のような所で使用しますと、信号が遮断されたり
受信できない場合があります。

- ・受信部の近くにガラスや壁の遮へい物があり、送信の影になるところ。
- ・ネットやガラスなど、光を減衰、または反射するものがあるところ。

② 操作方法

<各部の名称>



<リモコン操作方法>

※必ず電源(壁)スイッチをONの状態でお使いください。

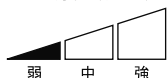
※調光機能付の壁スイッチでは使用できません。

①. ファン回転速度ボタン(弱 中 強)

- ファンを回転(ON)させます。
- ファンの回転速度を調整します。

強、中、弱ボタンを押すとファンの回転速度が高速、中速、低速と速くなったり、遅くなったりします。
LCDモニターにも回転速度に合わせてレベルを表示します。

弱の場合(低速)



中の場合(中速)



強の場合(高速)



注) ファンが停止(OFF)しているときに、ファン回転速度ボタンでファンを回転させた場合、ファンの回転方向は、ファン停止前の回転方向で回ります。(動作を記憶しています。)

②. ファン冷房、暖房ボタン(風向)

- ファンの風向きの変更を行います。

ボタンを押すと冷房→暖房の順で切り替わります。
(このボタンは、ファンが回転中のみ有効です。)
LCDモニターに風向きが表示されます。

冷房の場合



暖房の場合



③. ファン切ボタン

- ファンを停止(OFF)します。
LCDモニターには何も表示されません。

④. シャンデリアボタン(照明)

- ※当器具では使用できません。

3 お手入れ方法



必ずブレーカーを切ってから作業してください。
不意に作動してけがをしたり、感電の原因となります。

ぬるま湯又は薄めた台所用中性洗剤を浸した柔らかい布を、かたくしぼって汚れをふき取り、その後からぶきをしてください。



羽根に強い力を加えたりして、羽根を変形させないでください。
ファンの横ゆれ、振動の原因となります。

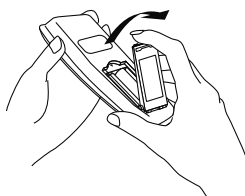
みがき粉、シンナー、ベンジン、アルコール、アルカリ洗剤等は使用しないでください。
ファンの変形・変色の原因となります。

※その他の清掃用具をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

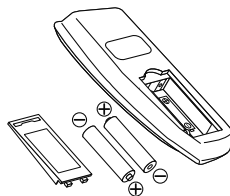
4 電池交換方法〔適合電池 単三形(LR6)×2個〕

●リモコン操作できない又は操作できる距離が短くなってきたら電池交換をしてください。

1 裏側のフタを手前に引き上げて取外す。



2 電池は、単三形(LR6)2個を極性を合わせて入れる。



3 カチッと音がするまでフタを押し込む。



⚠ 警告

- 電池の⊕⊖の向きを正しく確認し、接続してください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池を加熱・分解・ショートさせないでください。
- 電池を火の中に投入しないでください。
- 充電式電池を使用しないでください。
- 長期間ご使用にならないときは、電池を取出してください。

6 故障かな!?

ちょっとお調べください。

調べてみれば、それはとりこし苦労かも。あわてて修理を依頼するまえに、一度確かめてみてください。

こんなとき	ちょっとお調べください／処置	参考 ページ
運転しない リモコンで作動しない 受信しない	●リモコンの電池切れではありませんか。 →リモコンのいずれかのボタンを押して動作しないときは、新しい乾電池と交換する。 ●衣類や家具などで受信部をかくしていませんか。 ●リモコン乾電池の⊕⊖が逆になっていませんか。	5 — 5
	●受信部の近くにガラスや壁の遮へい物があり、送信の影になっていませんか。 ●ネットやガラスなど、光を減衰、または反射するものがありますか。 ●受信部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていませんか。 →①ブレーカーを「切」にする。 ②羽根の回転を妨げるものがないか確認する。 ③再度ブレーカーを「入」にする。 ④リモコン操作を行う。 それでも直らないときは、 すぐにブレーカーを「切」にして、工事店、お買い上げの販売店または当社「CSセンター」に修理を依頼してください。天井取付部や本体内部に異常がある恐れがあります。	3
本体の揺れが大きい 振動している	●羽根が破損していませんか。 ①ブレーカーを「切」にする。 ②羽根破損していないか確認し、破損している場合は、お買い上げの販売店に依頼し羽根を全部取り換えてください。 それでも直らないときは、 お買い上げの販売店、電気工事店又は当社「CSセンター」にお申し出ください。	—

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

●本体への表示内容

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容を本体に行っています。

【製造年】本体に西暦4桁で表示してあります。



【設計上の標準使用期間】10年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

●設計上の標準使用期間とは

※運転時間や温度・湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

標準使用条件 日本工業規格JIS C9921-1：2009による

大項目	中項目	小項目	備考
環境条件	電圧	単相 100V	製品の定格電圧による
	周波数	50Hz/60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	
	設置	標準設置	施工説明書・取扱説明書による
負荷条件		定格負荷(風速)	取扱説明書による
想定時間など	天井扇 運転時間 運転回数 運転日数 スイッチ操作回数 首振運転の割合	10h/日 5回/日 180日/年 900回/年 規定しない	

注記 環境条件の湿度65%は、JISZ8703の試験状態を参考としています。

「経年劣化とは」
長期間にわたる使用や放置にともない生じる劣化をいいます。

※上記の「長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示」は、
電気用品安全法の改正に基づき、2009年4月以降生産の製品に記載しています。

お願い

下記の場合において回転数に誤差が生じます。あらかじめご了承ください。

- 基準回転数において±10%程度の範囲で誤差が発生します。
- 電圧変動。
- 羽根の重量バラツキ。
- 室温の変化。(※基準回転数は室温25℃にて測定)

保証について

1. 保証について
この商品の保証期間は1年です。
但し、消耗品は除きます。
詳細は弊社カタログをご参照ください。
2. 保証書について
保証書が必要な場合は、下記「CSセンター」までお申し出ください。
3. 補修用性能部品の保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。
補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

点検とお手入れ方法

1. 明るく安全に使用するために6カ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。

(1)点検項目

- ・ランプが切れていませんか。
- ・正常に点灯しますか。
- ・スイッチは正常に切り替わりますか。
- ・天井との取付部、各部品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか。
- ・可動部は異常なく動作しますか。
- ・異常な臭い、音、発熱はありませんか。
- ・ガラス、プラスチック部品等に、ひび、割れ、変形等が発生していませんか。

(2)清掃

器具やランプにホコリがつくと、明るさを損なうばかりか、器具自体の寿命を短くします。

清掃箇所	清掃方法
金属メッキ処理 金属塗装処理	傷つきやすい部分ですから、柔らかい布で1〜2回軽く拭いてください。
アクリル プラスチック	薄めた中性洗剤を使用し、洗剤が残らないようによく水洗いしてそのまま乾かしてください。乾いた布で拭くと静電気が生じ、ホコリがつきやすくなります。(但し、金属部は除く)
木・竹・籐 布・和紙	こまめにハタキや柔らかいハケ、ブラシでホコリを落とし、目の細かい柔らかな布で軽く拭いてください。
ガラス	中性洗剤またはスプレー式ガラスクリーナーを使用したのち水洗いし、自然乾燥してください。消しグローブは素手でさわると指紋がつきます。ゴム手袋等を使用してください。

※ガソリン、シンナー、みがき粉、サンドペーパー、たわし等は使用しないでください。

2. 異常時の処置

異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または当社「CSセンター」までお申し出ください。(部品等の取り替えは勝手にしないでください。)

商品についてのご相談

照明器具の機能・性能等のお問合せは、下記までお電話ください。

CSセンター (0570)003-937(ナビダイヤル 全国共通)

受付時間(月〜金曜) 9:00〜17:00

(土・日・祝・祭日、夏季、年末年始休業日は受付しておりません。)